



わかくさ

vol.
129



【通所リハビリテーション 利用者さんによる作品:干支モザイクアート】

※本誌に掲載されている写真について、感染対策には十分配慮し撮影しております。

TOPICS

- 新年のご挨拶 ●
- 最新鋭の3.0テスラMRI装置 導入のお知らせ ●



社会医療法人 若弘会

Wakakouai Health Care Corporation

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。各施設の院長・施設長より今年の抱負を表す漢字と新年の挨拶を申し上げます。本年も若弘会をどうぞよろしく願い申し上げます。



若草第一病院

院長 山中 英治

明けましておめでとうございます。

昨年は元旦早々に地震があり、災害や戦争も多い年でした。悲しい出来事が多い年でした。

しかし、コロナは何とか落ち着きました。せっかく感染症がおさまったのに、愚かな戦争はやめてほしいです。

「上医は国を治し、中医は人を治し、下医は病を治す」とのこと、下医としては頑張りますので、世界の国々に上医があらわれることを切に願います。

「陽はまた昇る」

今年は平穏で明るい年になりますように。



わかくき竜間リハビリテーション病院

院長 錦見 俊雄

新年あけましておめでとうございます。

本年も皆様の御健勝をお祈りします。

今年の漢字は「仁」にしました。左のへんは「ひと」を表しています。

ひとが2人を示す「仁」は、人と人が仲良くすることから、相手を思いやる気持ちを示しています。慈愛、思いやり、という言葉でも使われています。患者さんに対しては言うまでもなく、職員間でも相手に敬意と慈しみをもって接し、良いチームワークで良い医療を提供していくのが病院では重要です。

ウクライナ、ガザなど世界のどこかで今も戦争が行われ、罪のない人々が亡くなっています。平和で穏やかな日々を願うとともに、仁の気持ちを持って、医療を行い、地域の皆様から信頼される病院となるべく本年も努めて参ります。





在宅医療



医療長 川合 右展

新年明けましておめでとうございます。

在宅医療ではお互いを高め合いチームの結束を強め、質の高いサービスを提供できるよう努めています。そこで、今年の抱負を漢字一文字で表す文字として「結」を選びました。

在宅医療サービスの提供を通じて、誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会の実現に貢献できるように頑張りたいと考えています。

本年も、顔の見える関係を大切にし、地域に根ざした医療機関として信頼され選択していただけるように取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



介護老人保健施設 竜間之郷

施設長 大河内 二郎

新しい年を迎えるにあたり、私たち竜間之郷の全スタッフは、「躍」の精神を持って、さらに高みを目指すことを誓います。患者さん一人ひとりの健康と幸せのため、日々の医療において飛躍的な進歩を遂げることを目指し、常に挑戦を続けてまいります。今年も皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



最新鋭の

3.0テスラMRI装置



導入のお知らせ



若草第一病院では、この度
『GE社3.0T MRI SIGNA Hero』
を導入いたしました。

最新技術を搭載し高画質な画像を短時間
に撮影することが可能となり、患者さんの
負担も低減できる装置となっておりますので
ご紹介いたします。

磁場強度のアップ

当院の装置は従来まで1.5T(テスラ)の磁場を使用したMRIで撮影を行って来ました。新たに導入される装置では3.0T(テスラ)の磁場を使用して撮影を行っていきます。磁場に比例して画質は良くなり、撮影時間は短くなりますので、仮に撮影時間が同じであれば2倍の画質に、画質が同じであれば半分の時間で撮影が可能となります。実際には診断に必要な高画質を担保しながら時間の短縮を図っていきます。

AI機能について

①AIR Recom DL

AI技術であるディープラーニングを用いた新しい再構成技術により、短い時間でも画質を良くすることができます。また、アーチファクト(画像のゆがみ等)も減らすことができ、より診断の精度が向上します。

②AIRx

ディープラーニングを用いた自動位置決め機能により操作時間の短縮が行えます。これに伴い操作時間が減り、患者さんの負担軽減にも繋がります。また、毎回同じ位置で撮影を行えるので、経過観察する際に比較しやすい画像を撮影できます。

③AIR Coil

MRIにはコイルといって撮影する範囲を覆うように装着する器具があります。新しいMRIでは「AIR Coil」というブランケットのような形状のコイルを使用します。従来まではコイルの形状に患者さんが合わせる形になっていましたが、このAIR Coilは患者さんに対してコイルを合わせに行きます。患者さんに負担のかからないように無理のない体勢で検査が可能となります。



救急患者さんへの迅速な対応

従来のMRI装置は当院の本館1階に設置されており、北館1階にある救急外来から距離がありました。新たなMRI装置は北館1階に設置され、救急外来からも放射線課からも近くなりました。緊急を要する場合、より迅速な検査を行うことが可能となりました。

最後に

この他にも様々な機能を有しており、近畿ではまだ限られた施設でしか導入されていない最先端の技術が搭載されている最新装置です。患者さんの負担低減、高精度な撮影が可能となっております。



今後も患者さんが安心・安全に検査を受けることができるよう
努めてまいります！！

美味しい！安全！を守るために ～口から食べる工夫～



リハビリテーション部 言語聴覚士 勝田 有梨

好きな食べ物は何か？誰と一緒に食べたいですか？

「口から食べる」ことは、必要な栄養成分を摂取するだけではありません。
おいしさや香り、食感などを味わうことが、
生きる喜びを味わうことにもつながります。

加齢や病気などによって、飲み込む力が弱くなり、美味しく安全に口から食べることが難しくなると、
低栄養・脱水・誤嚥・窒息などのリスクだけでなく、人生の楽しみにも影響を及ぼします。
飲み込む力が低下しないように、また、低下してもできるだけ長く安全に食べることを
楽しむためのポイントを見ていきましょう。

<食べる環境>

- ・食べ物がよく見えるように、明るい場所で食べる。
- ・食べることに集中しにくい場合は、テレビを消したり、静かな場所を整える。
- ・一度にたくさん食べずに、一口ずつゆっくり食べる。



<食べる姿勢>

- ・いすや車いすに座るときは、体のサイズにあわせて、おしりが前にすべったり、
頭部がうしろに倒れないようにする。
- ・ベッド上の場合、体が不安定にならないようにクッションなどで調整する。

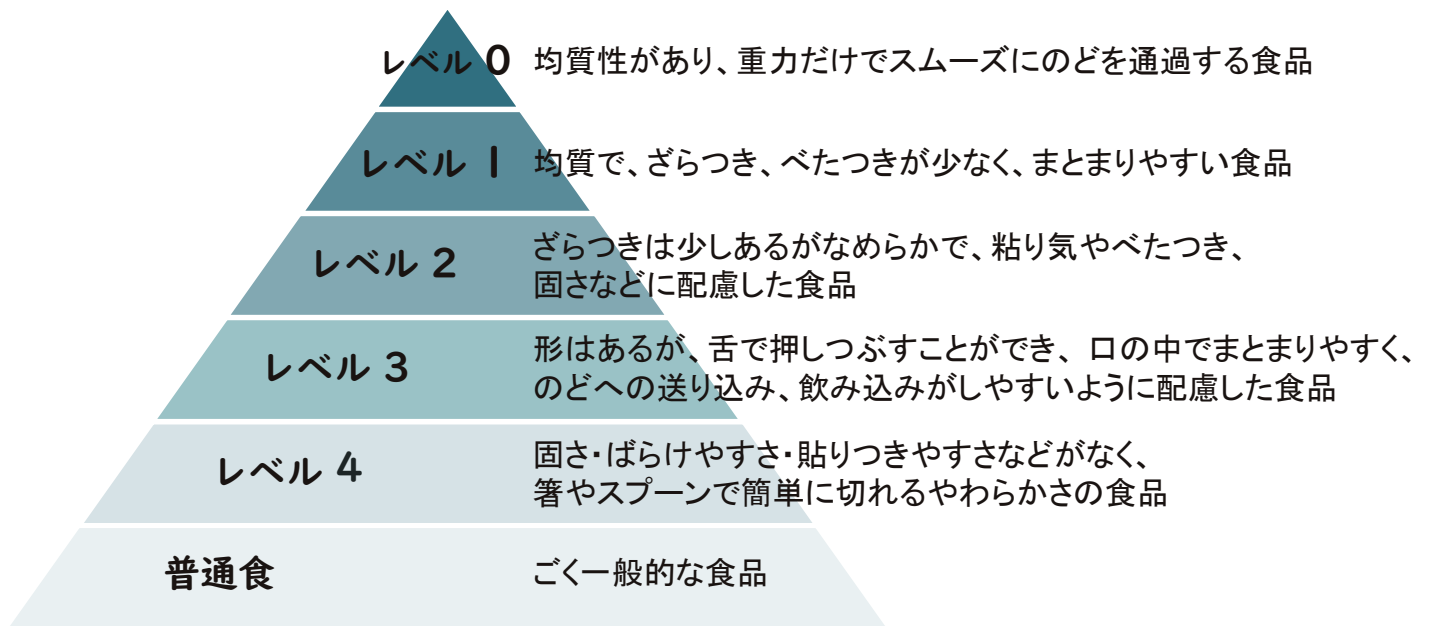
<口腔内の状態>

- ・口の中を清潔に保つ。
- ・歯の健康、義歯が合っているかどうか、定期的にチェックする。
- ・口の筋肉を鍛える。しっかり噛む、おしゃべりする、口の体操をすることなどを習慣づける。



<食べ物を選び方>

飲み込む力にあわせて食品や調理方法を選ぶ。



日本摂食嚥下リハ学会HPホームページ『嚥下調整食学会分類2021』を参考に一部表現を変更しています。
分類の理解にあたっては、『嚥下調整食学会分類2021』を必ずご参照ください。

<https://www.jsdr.or.jp/wp-content/uploads/file/doc/classification2021-manual.pdf>

<調理方法～日常でできる工夫～>

最近、飲み込みにくくなってきたと感じることはありませんか？

パサパサした食品や固い食事は、なめらかでまとまりやすい食品を使ったり、調理方法を変更してみましょう。
とろろをつなぎにしたり、マヨネーズで和えるなども取り入れやすい方法です。



年齢や体力の変化、体調によって、飲み込みの力も変化することがあります。

定期的なチェックが必要です。

ご自身やご家族だけではなく、医療・介護サービスなど様々なサポート体制があります。
飲み込みや食事に関する姿勢など、心配なことがあれば、医師、看護師、理学療法士、
作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士など専門家に相談しましょう。



冬こそ気を付けたい食中毒 (ノロウイルスの対応)





わかさ童間リハビリテーション病院 薬剤課

食中毒と聞くと、夏なつの暖かい時期をイメージされがちですが、実は最も多い時期は冬ふゆです。
そして、冬の食中毒の大半はノロウイルスが原因です。



ノロウイルスは、感染力が非常に強く、蔓延化を防ぐためにノロウイルスに感染した人の糞便やおう吐物からの二次感染、ヒトからヒトへの直接感染、飛沫感染を予防する必要があります。
しかし、アルコール消毒では効果があまり期待できず、次亜塩素酸ナトリウムが効果的と言われています。
次亜塩素酸ナトリウムは、家庭用の塩素系漂白剤に含まれており、水に薄め、消毒液として用いることができます。そこで、今回は、自宅でも簡単にできる次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方について紹介します。

塩素濃度	0.1%(1000ppm)以上	0.02%(200ppm)以上
使用場所	糞便やおう吐物	床、調理器具、衣類、ドアノブなど 多くの人が触れるモノ・場所
作り方	2Lの水に対して ペットボトルキャップ8杯の 家庭用塩素系漂白剤 	2Lの水に対して ペットボトルキャップ2杯弱の 家庭用塩素系漂白剤 
使い方	おう吐物等はウイルスが飛び散らないように ペーパータオル等で静かに拭き取り、 ビニール袋に密閉して廃棄する。この際、 ビニール袋に廃棄物が十分に浸る量の 次亜塩素酸ナトリウム(1000ppm)を入れる。	汚染場所は、次亜塩素酸ナトリウム (200ppm)で浸すようにペーパー タオル等で拭き取り、必要であれば 水拭きをします。

※市販の塩素系漂白剤の濃度5~6%、ペットボトルキャップ1杯=5mL

〈注意事項〉

- ・皮膚や粘膜を刺激するため、使用する際は必ず手袋、マスクを着用してください。
- ・誤飲防止のため、容器には「消毒液」などの目印をつけてください。
- ・おう吐物などを拭き取ってから使用してください(おう吐物は乾燥する前に拭き取りましょう)。
- ・時間が経つと効果が減弱するため、使用する際はその都度調製してください。



感染予防の基本は手洗いです。丁寧な手洗いを心がけましょう!

引用文献: 食品安全委員会 ノロウイルスの消毒方法

栄養と健康



若草第一病院 栄養課

『指定野菜』のブロッコリー

2026年度からブロッコリーが指定野菜に加わることになり、話題になりましたね。

指定野菜とは、農林水産省が指定し、特に消費量が多く国民生活に重要な野菜の価格を季節によって変動することなく安定させて、いつでも食べられるようにする制度です。

この指定野菜には、キャベツ、きゅうり、はくさい、たまねぎなど14品目あり、50年ぶりに追加されるのが「ブロッコリー」です。

ブロッコリーに多く含まれる栄養素

〈カリウム〉

余分なナトリウムや水分を排泄する働きがあるため、血圧を抑え、むくみを解消する効果が期待される栄養素です。

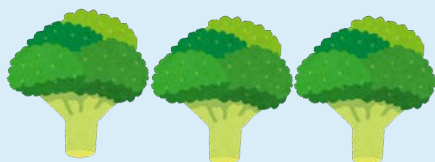
〈ビタミンK〉

カルシウムを骨に沈着させる働きがあり、骨を強くし、骨粗鬆症の予防にも役立ちます。また、血液を固める作用がありますので、ワーファリン（血液をさらさらにするお薬）を飲んでいる方は摂取しすぎに注意しましょう。1日の目安量は小鉢1皿（50g）程度です。

その他、貧血を予防するβ-カロテン、老化予防に役立つスルフォラファンなどたくさんの栄養素が含まれています。

☆ブロッコリーの選び方と効果的な食べ方☆

- ・ 蕾がこんもりしていて硬く締まり、緑色が濃いものを選びましょう。また、紫色の色素であるアントシアニンが現れて紫色っぽい色に変化しているブロッコリーは、緑色のものよりも甘みが強い傾向にあります。
- ・ 短時間で洗い、茹でるよりも電子レンジで調理する事で水溶性の栄養素の損失を防ぐことができます。
- ・ ビタミンKやβ-カロテン、スルフォラファンは、油に溶けやすい性質を持っています。油と一緒に摂取すると、体の中での吸収率がアップします。



【参考】

文部科学省「食品成分データベース」
公益社団法人日本ビタミン学会 学術論文
農林水産省ホームページ「野菜価格安定制度について」
厚生労働省「日本人の食事摂取基準2020年版」

暖冬予報! ? 今年は今冬は寒暖差に注意!

わかさ老人訪問看護ステーション 星野 綾

寒暖差疲労

身体の機能を守るために体温調整をしようとしすぎて、身体に疲労が溜まり体調不良を引き起こしてしまう状態を寒暖差疲労といいます。気温の変化の差を感じたことがきっかけで、体と心に異変が起こってしまう状態です。

主な症状

- ・頭痛 ・肩こり ・腰痛 ・めまい
- ・倦怠感 ・食欲不振 ・便秘や下痢
- ・不眠 ・手足、全身の冷え ・むくみ
- ・イライラ ・不安 ・ストレスの増加など

寒暖差疲労が起こりやすい人

- ・暑さ、寒さが苦手な人 ・エアコンが苦手な人
- ・季節の変わり目に体調を崩しやすい人
- ・冷え性の人
- ・同じ温度の環境に長時間いることが多い人
- ・顔、全身がほてりやすくむくみやすい人

日常で心掛ける事

① バランスの良い食事



タンパク質やビタミンBを積極的に取り入れる

② 十分な休息



6~8時間ほどの睡眠時間、質の良い睡眠をとれる環境に

③ 適度な運動



意識的に30分ほどの散歩などを取り入れる

④ 身体を温める



着脱ができる衣類の準備・着用を心掛ける

⑤ 適度な室温



環境省は、夏28度、冬18度以上を推奨（冷暖房器具の設定温度ではありません）

重症の場合は・・・

血圧の高い人は心臓に負担がかかりやすいです。また、脳血管は細く傷つきやすいため脳血管疾患が起こってしまいやすいです。急に、冷えていた体が温められると、縮こまっていた血管が広がり血流が一気によくなることで血圧が急激に下がる可能性があります。

参考文献：環境省「家庭部門のCO2排出実態統計調査（家庭CO2統計）」

糖尿病ネットワーク「気温差が大きいと「脳卒中」リスクが上昇 寒い朝には注意が必要」

日本橋老人訪問看護ステーションのご紹介

「日本橋老人訪問看護ステーション」は、大阪市浪速区、西成区を中心に中央区、天王寺区の一部を対象地域としており、看護師7名、理学療法士2名体制で、小児から高齢の方までの様々な疾患に対応しています。

当訪問看護ステーションは、大阪でも有名な繁華街に位置しています。独居や、身寄りのない方が多く、様々な事情(生活背景・国籍など)の方に対応することが非常に多いという特徴があります。

私たちは、利用者さんの考えや価値観を大切に、その人が望む形のサポートを心掛けています。自宅で療養する利用者さんに寄り添い、温かな関係性を築くことで安心して過ごしていただくことが大切な役割と考えております。



訪問看護のエピソード

一人暮らしのAさんは、遠くに住んでいる高齢の姉だけが身寄りで、長年この地域で、気の向くままに暮らしておられました。今まで病院とは縁遠く、かかりつけ医も持っていない状況でした。

酷暑が続く真夏の盛り、Aさんは路上で倒れている所を助けてもらい、救急車で搬送されました。

検査上、大きな異常はないと判断され帰宅されましたが、その後、食事や水分を摂ることもままならず、一人で動くことも困難となりました。

病院に行くことは断固拒否されており、地域包括支援センターの職員からの相談が当訪問看護ステーションに入りました。わかこうかいクリニックの訪問診療の医師と一緒に訪問したところ、熱中症、脱水症の状態意識がもうろうとしていました。その日から自宅で点滴を開始し、徐々に元気を取り戻され、改めて、「病院には絶対に行かない、ここで死ぬまで自由に過ごす」と意思表示されました。

ご本人の思いを受け止め、住み慣れた地域で、穏やかに過ごすことが出来るよう、在宅医や訪問看護師、介護士、理学療法士、薬剤師など、多職種でサポートしています。今では時折、大好きな晩酌を楽しみながら、笑顔で過ごされています。

これからも、多種多様な価値観に寄り添い、人生を共に考え、きめ細やかなケアやスピーディな対応を心掛けた看護を目指していきます。



日本橋老人訪問看護ステーション

〒556-0005

住所: 大阪府大阪市浪速区日本橋4-7-17

電話: 06-6643-7145

営業日: 月～土 9:00～17:30



ホームページ

近所の「がん診療拠点病院」で、 安心の「早期治療」と「継続治療」を

-当院は2011年に大阪府から「がん診療拠点病院」の指定を受けました-

がん診療の大事なポイント

若草第一病院 院長 山中 英治

①早期発見

初期のがんほど完治しやすいです。近所の病院ならすぐに都合の良い時間に検査予約ができます。

②早期治療

がんと分かたら、早く治療をすべきです。当院では迅速な治療を行います。

③救急治療

病状によっては緊急に入院して処置をしないと命にかかわることも多いです。がんの手術をして退院した後や、抗がん剤の治療中に状態が悪くなることもあります。当院は24時間365日救急患者さんに対応していますので安心です。

④継続治療

がん治療は手術したら終了ということは少ないです。手術の後に後遺症が残ることや体力が低下することもあります。当院はいつでも対応できますのでご安心ください。

⑤緩和ケア・在宅医療

残念ながら、がんは治らないことや再発することがあります。当院では訪問看護や訪問診療の医師と連携して在宅医療を行っています。急変時の対応も安心です。

ぜひ、もしもの時も安心な地元のがん拠点病院で治療を受けられることをお勧めいたします。

若草第一病院 診療放射線課

マンモグラフィ検診

お問合せ・ご予約
若草第一病院 地域連携課
予約センター
TEL:072-988-1409

○9人に1人が乳がんになる時代

今や9人に1人が乳がんになる時代です。乳がんの罹患率は年々増加し、30代後半から増え始め40代から50代にピークを迎えます。

※出典:公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計2022」

○早期発見で生存率90%以上

早期発見・早期治療が大切!

乳がんは早期発見ができれば治る病気です。そのためにもセルフチェックやマンモグラフィによる乳がん検診が必要です。

マンモグラフィ検査とは…

乳房を左右片方ずつプラスチック板ではさみ、圧迫して撮影します。若草第一病院では女性技師が対応いたします。痛みなど、気になることがございましたら、なんでもご相談ください。

自分のためにも、大切な人のためにも検診を!



YouTube



ホームページ

人工呼吸器について勉強しました

わかくさ竜間リハビリテーション病院

部長 岡本 祐佳里



わかくさ竜間リハビリテーション病院では、長期にわたり人工呼吸器による呼吸管理を必要とする患者さんが入院されています。この時期、重症の患者さんの受け持ちも行うようになってきた新人看護師を対象として、人工呼吸器について研修を行いました。人工呼吸器を装着している患者さんを担当したことがない職員にとっては、初めて実物に触れる機会となりました。臨床工学技士と看護師による概要と実践についての講義は、なぜそれが必要であるかという根拠を含めた内容であり、一段と理解を深めることができました。

「人工呼吸器について難しいと感じていたが、身体状態や患者さんのことを考えたケアに繋がっていきけるよう、これからも学んでいかなければいけない」という参加者の声も聞かれ、継続して学ぼうという動機付けになる研修でした。看護部では、技術だけではなく、しっかりとアセスメントし、患者さんの視点に立ったケアができる看護師を育成していきます。

みんなで考え意見を述べ合う ディベート大会

若草第一病院

教育担当部長 花木 佑三子

若草第一病院看護部では、10年以上前から新人看護師を対象に論理的思考力や瞬時に考え判断する能力、批判的思考力を養う効果を期待しディベート大会を開催しています。毎年、社会問題や仕事に関するテーマをもとに、グループワークを重ね、第三者に理論的に説得できるよう準備しています。今年度のテーマは「同性婚について」「定年の引き上げについて」「マイナンバーの紐付けについて」でした。



どのグループも、与えられたテーマに関する法律や制度を調べ、自分たちの主張を裏付けるデータをもとに、相手との建設的な意見交換を通して結論を導きだしていました。

ディベート大会は、社会で必要とされるさまざまなスキルを養う貴重な機会です。研修を通じて得られたスキルや経験を活かし、今後の実践に繋がるようサポートしていきます。

ナラティブ

～私の心に残る看護体験～

私が印象に残った 患者さんとの関わり

わかくさ竜間リハビリテーション病院
竜間棟1階東病棟 森 陽菜花



私が印象に残っている患者さんは、自宅で転倒され救急搬送後、左大腿骨転子部骨折と診断され、リハビリ目的で当院へ転院されたAさんです。Aさんは、私が入院当日の患者対応をする2回目の患者さんでした。既往歴に高血圧、糖尿病、大動脈弁狭窄症だいでうみやくべんきょうさくしやうがあり、BNPが高く、全身状態を覗ながらの療養生活となりました。最初は、ベッド上のリハビリのみでしたが、徐々にADL※はアップし、離床時間が増え、車椅子中心の生活になってきた頃でした。出勤するとAさんは呼吸状態が悪化し酸素が投与され、尿量の減少があるため、ご家族の意向により、転院調整を行っている最中でした。すぐに病室へ向かい準備を始め、Aさんに転院する旨をお伝えすると、不安そうに「ここには帰ってこないの?」と言われました。それはまだ確定していないこと、私が転院先の病院まで付き添うこと、搬送先の病院でご家族が合流されることを伝えると「うん・・・」と返事をされました。私は、転院先の病院に向かう救急車の中で、「Aさんがここで急変したらどうしよう」と

いう不安でいっぱいになり、Aさんの手を握ることしかできませんでした。それでもAさんは「どこいくの? 姉ちゃんがいい」と手を握り返して下さいました。その時は、救急車の中で病状が大きく変化している状況ではなく、不安を強く表出している状況であったため、Aさんの不安に寄り添うことを最優先にするべきだと感じた場面でした。

その経験を振り返ることで、どんな場面でも患者さんが求めていることは異なり、コミュニケーションに現れないニーズもある中で、看護師は患者さんの変化に気付き、汲み取ることが必要だということを実感しました。どんな患者さんでもしっかりと関わり合い、その時の患者さんのニーズに合った声掛けを行い、日々変化する患者さんに臨機応変に対応できる看護師になりたいです。

※日常生活動作

これまでの看護経験の中で、今でも心に残っている
患者さんとの関わりはどのようなものだったのでしょうか……

ALS（筋萎縮性側索硬化症）の 患者さんに関わって

介護老人保健施設竜間之郷
松延 照男



私は平成2年5月に看護エイド（現：看護補助者）として当時の若草第二竜間病院に入職しました。平成3年より准看護学生として看護の道をスタートし、進学コースを経て平成7年に晴れて看護師として歩みだしました。

これまで様々な患者さんとの出会いと別れを繰り返してきましたが、その中でも特に今でも忘れられない患者さんがいます。私が、准看護師2年目の時にAさん（60歳代の女性）と出会いました。病名はALS。ALSは、体を動かすのに必要な筋肉が徐々に痩せていき、力が入らなくなる病気です。Aさんは入院当初は、歩行ができていましたが、症状が進行し私が出会った頃には車イスで過ごし会話はできる状態でした。次第に全身の筋力低下が見られ、最終的に気管切開、人工呼吸器使用になりました。声を発生することが困難のため、本人の訴え、意思は「あいうえおの表」を使い、眼球の動きでイエス・ノーを確認しながらコミュニケーションを図っていました。しかし、Aさんの思いを理解できず時間が過ぎるばかりで、私が行っても目も開けて

くれない日もありました。先輩看護師の対応時の反応を傍らで確認しながら関わりました。そして訪室した時、Aさんと目が合い何かを訴えていることを感じました。「どうされましたか？トイレですか？」と尋ねると、今まで険しい表情をされていた患者さんが笑顔に変わりました。私自身も心から嬉しく思い、ようやく患者さんのニーズに答えることができたという充実感でいっぱいな瞬間でした。同時にAさんの気持ちにどれだけ寄り添えたのか？Aさんの訴えに向き合っていたのか？上辺だけの関わりになっていないか？と振り返りました。

私は、自分の家族、知り合いと接する思いで日々の関わりを大事にしています。ALSという難病の患者さんを通して、非言語的コミュニケーションの難しさ、そして患者さんに寄り添う難しさを感じられた事例でした。日々の管理業務の中で私自身の看護観を伝え、利用者さん・ご家族が安心して自分らしく過ごせる生活の場所を提供していきたいです。

外来表のご案内

若草第一病院 外来担当医表

当院は病診連携のもと、紹介予約を基本としております。
急患につきましてはお電話にてお問い合わせください。

TEL 072-988-1409
FAX 072-982-5425

外来担当医表は都合により変更する場合がございますので必ずご確認のうえご来院ください。

午前診：9:00～12:00

午後診：完全予約制となっており、一部の診察を除き専門外来のみです。

●：紹介のみ、○：予約制

2025年1月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	山口 哲央	清水 雅之	松田 達也	赤井 亮介	二宮 由佳	担当医
		岡本 麻知子	霜野 良弘	白石 哲也	小谷 晃平	田中 康貴	
	消化器内科	岡田 章良	遠山 まどか 診察時間9:30～12:00	親泊 智英	岡田 章良	龍華 庸光	瀨川 哲也
	循環器内科	高柳 猛彦	●○森 益規 診察時間9:30～12:00	竹田 征治	●○担当医	●○担当医	武田 徳弘
	呼吸器内科	栩野 吉弘	-	柏尾 誠	姜 成勲	小川 晃一	-
	血液内科	高桑 輝人 診察時間9:30～12:00	岡山 裕介 診察時間9:30～12:00	高桑 輝人 診察時間9:30～12:00	岡山 裕介 診察時間9:30～12:00	-	-
	小児科	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友 診察日第2・3・5週	-
	脳卒中センター	熊谷 哲也	担当医	松井 雄一	堀井 亮	熊谷 哲也	担当医
	外科 緩+外科 緩和ケア	中本 博之	山中 英治	池側 恭洋	●○山中 英治 診察時間9:00～10:00	田村 地生	緩 小田 道夫
	整形外科	辻本 由美子	農野 啓正 有賀 健太	-	辻本 由美子 診察時間9:30～12:00	-	-
	人工関節センター	-	○原口 圭司	-	○原口 圭司	-	-
	肩・スポーツ外来	-	-	-	○今田 光一 診察時間9:30～11:30	-	-
	形成外科	担当医 診察時間9:30～12:00	-	西川 侑輝	-	-	-
	皮膚科	-	岡田 真央	-	-	-	-
	婦人科	-	小林 理章	-	小林 理章	-	-
	眼科	-	福田 全克 診察時間9:00～11:30	青松 圭一	担当医 診察時間9:00～11:00	○米田 廣美 診察時間9:00～11:00	-
	泌尿器科	林 知行 診察時間9:00～11:00	中川 雅之 診察時間9:00～11:30	林 知行 診察時間9:00～11:00 原田 二郎 診察日第1・3・5週	○林 知行 診察時間9:00～11:00	-	三島 崇生 診察時間9:00～11:30
	耳鼻いんこう科	天野 かおり	天野 かおり	天野 かおり	-	天野 かおり	-
	午後	神経内科	-	-	-	○山口 哲央 診察時間14:00～16:00	-
心血管外科		-	-	-	-	●○長阪 重雄 診察時間13:30～16:00	-
肩・スポーツ外来		○今田 光一 診察時間13:00～15:30	-	-	-	-	-
外科		-	-	北川 克彦 診察時間13:30～16:30 (受付時間13:30～16:00)	-	-	-
形成外科		担当医	-	●西川 侑輝	-	-	-
皮膚科		-	岡田 真央	-	-	-	-
眼科		-	-	-	○予約検査	-	-
泌尿器科		○予約診療・検査	-	○予約診療・検査	室田 卓之 診察時間14:00～17:00 (受付時間14:00～16:30)	-	-
セカンドオピニオン外来	○完全予約制です ※月～金曜日で担当医と日程を調整し相談日程をご連絡いたします						

わかくさ電間リハビリテーション病院 外来担当医表

2025年1月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	内科	西尾 健資	杉口 茂	菌田 智弘	紙谷 富夫	錦見 俊雄	-
午前 9:00～12:00	歯科	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	-

わかこうかいクリニック 外来担当医表

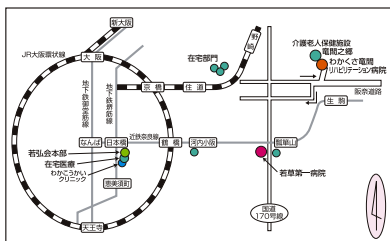
2025年1月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	外来1診	城村 尚登	城村 尚登	城村 尚登	池岡 直子	城村 尚登	西口 修平
	外来2診	-	-	西口 修平	-	-	城村 尚登
午前 9:30～12:00	腹部エコー検査	池岡 直子	-	-	池岡 直子	-	康 典利(第2・第4)

社団の理念

最高の医療を提供し、
地域社会の健康と健やかな
人生に貢献します

当社は、東大阪市を中心に
機能や特質の異なる施設を擁し、
急性期医療から在宅療養にいたる
医療ネットワークを展開しています。



広報誌 わかくさ 2025年 No. 129

発行：社会医療法人 若弘会
大阪市浪速区日本橋4-7-17
発行日：2025年1月1日

ホームページを開設しています。
<https://www.wakakoukai.or.jp>
e-mail: info@wakakoukai.or.jp



広報誌わかくさの表紙を飾るお写真や
コラム、またご意見、ご感想などがご
ざいましたら、お待ちしております。



メールアドレス
QRコード



社団ホームページ
QRコード